

希望が丘南地区



希望が丘南地区は、旭区の西南端に位置しており、瀬谷区と泉区に接しています。泉区側は神明台処分地となっています。起伏に富んだ丘陵地で、戸建ての住宅地に集合住宅が点在しています。

鴨居上飯田線が厚木街道から新幹線に沿って走っています。

地区担当：南希望が丘地域ケアプラザ

地域の福祉保健施設

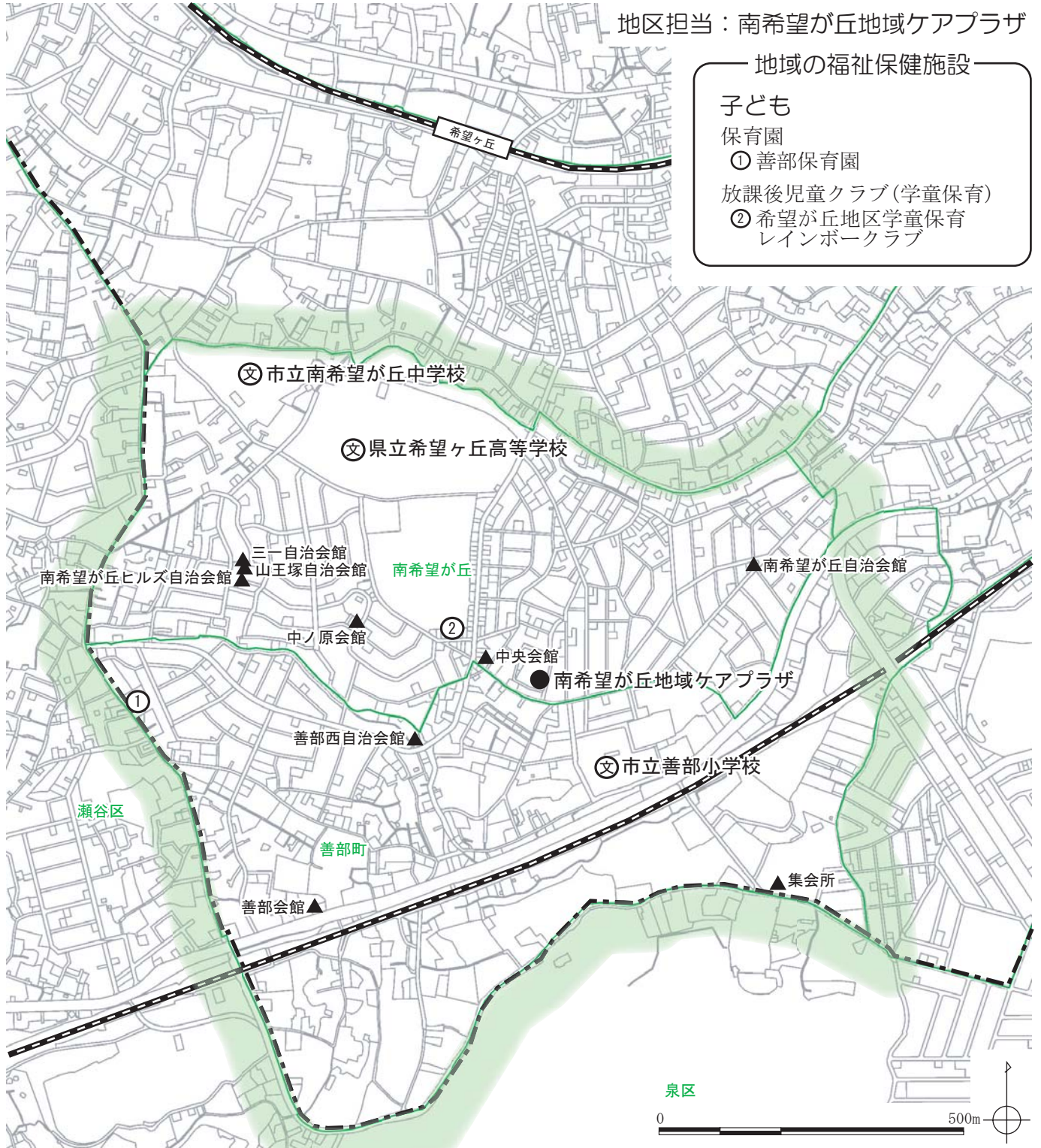
子ども

保育園

- ① 善部保育園

放課後児童クラブ(学童保育)

- ② 希望が丘地区学童保育
レインボークラブ



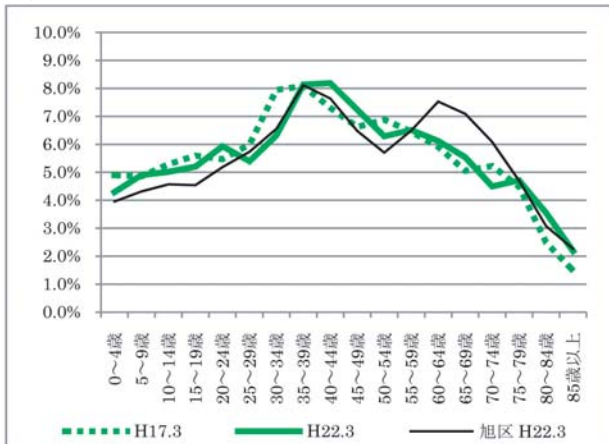
背景図：横浜市都市計画基礎調査

実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、およその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

【地区周辺の地形】



【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	4,447 世帯	4,689 世帯	+5.4%
総人口	11,086 人	11,320 人	+2.1%
0~14歳 (内、0~6歳)	1,667 人 (15.0%) 769 人 (6.9%)	1,609 人 (14.2%) 700 人 (6.2%)	-3.5% -9.0%
15~64歳	7,344 人 (66.3%)	7,349 人 (65.3%)	+0.1%
65歳以上	2,075 人 (18.7%)	2,317 人 (20.5%)	+11.7%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計 (南希望が丘、善部町)

※人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考としてお取り扱い下さい。

希望が丘南地区の活動情報

(平成22年9月末現在)



KKネット 公園あそび 「いっしょにあそぼ」

毎月第4火曜日
時間：10:00 ~ 11:30
場所：中ノ原公園・会館
公園で遊びのリーダーを中心に親子遊びや集団遊びを楽しむ。雨天や冬期は室内遊び。

KKネット プレイルーム 「ぽっけ」

毎月第4金曜日
時間：10:00 ~ 11:30
場所：南希望が丘地域ケアプラザ
おもちゃや絵本を用意して、参加者が自由に遊び、おしゃべりを楽しむ場。夏はプール遊び。



食事サービス 「希望が丘梅の会」

食事会：第3土曜日
配食会：第1金曜日
場所：南希望が丘地域ケアプラザ
高齢者等を対象に、食事会、昼食の配食などを行っています。



食事サービス 「おべんとうひよどり」

毎週日曜日
場所：南希望が丘地域ケアプラザ
高齢者等を対象に、夕食の配食を行っています。

「ふるさとのわひよどり」 (旧：ボランティアひよどり)

高齢者のミニデイサロン、生活支援を行っています。

- ・地域には他にも様々な活動があります
- ・活動についてのお問合せは、南希望が丘地域ケアプラザ 旭区社会福祉協議会へお気軽にどうぞ。

これまで（第1期）の活動

これまでの活動の目標

【活動の目標】

- 子どもが生き生き育つまち
- 隣近所が声かけあえる、きれいで犯罪のないまち
- 新しくできる地域ケアプラザで育む交流とみんなの笑顔のまち

【取り組みを進めるにあたり、特に大切にしたい点】

- ・自由に遊べる公園とネットワークの充実による子育て支援
- ・地域の美化と近所づきあいの大切さ
- ・新しくできる拠点づくりに向けて地域で工夫できることは自ら行う

活動の振り返り

● 子どもが生き生き育つまち

- ・学校、PTA、近隣住民等と話し合いを持ち、善部町公園にボール遊びができるようネットを設置した。
- ・黄色いベスト〈児童見守り安全ボランティア〉による登下校時の見守り活動を行なっている。
- ・子どもの事故防止のための自転車安全教室の実施した。
- ・K. K. ネット等による子育て支援を行なっている。

* K. K. ネット
= 希望が丘・希望が丘南
地区子育て応援ネット
の会



(K. K. ネットの活動)



(親子自転車安全教室)



(黄色いベスト見守り活動)

● 隣近所が声かけあえる、きれいで犯罪のないまち

- ・犯罪のないまちにするためにはまず、まちをきれいにすること。(G30活動、環境事業活動実施)
- ・民生委員児童委員協議会によるあんしんカード作成、一人暮らし等の高齢者交流会開催。
- ・梅の会等による高齢者配食、食事会による活動を行なっている。



(民児協と友愛活動推進員共催の談笑のつどい)



(梅の会 調理風景)

● 新しくできる地域ケアプラザで育む交流とみんなの笑顔のまち

- ・地域ケアプラザが地域の要望などを取り入れて平成21年4月開所した。
- ・地域の住民が各種事業の参加、介護等の相談、各種団体等が施設を利用をしている。
- ・子どもたちも安心して遊べるスペースができた。



(南希望が丘地域ケアプラザ)



(子どもたちの笑顔)



(来所された地域の方々)



(歌声喫茶の風景)

地区での検討

希望が丘南地区社会福祉協議会を中心とした『希望が丘南地区支えあい連絡会』により、平成22年から第1期の振り返りなどを経て第2期の5つの目標テーマが決まりました。



希望が丘南地区支えあい連絡会メンバー

各種団体から選出されており、主に地区社会福祉協議会の役員で構成されています。

また、学校関係者等、取り組みのテーマによって関係する他の地域の活動団体の方も参加します。

連合自治会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、家庭防災員、児童安全見守りボランティア、梅の会、青少年指導員、保健活動推進員、環境事業推進員、消費生活推進員、体育指導委員、子ども会育成連絡協議会、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、等

地区の強みと課題

地域の強み

- ・小・中学校と地域が一体感を持って、活発に活動している。
- ・連合自治会をはじめとした各種団体が定例会を毎月のように開催し、議論する場を設けている。
- ・各自治会において回覧板をその都度、各戸に回すように迅速に手配して、様々な情報を早く共有している。
- ・活動拠点が充実している。各自治会ごとに自治会館があり、地域ケアプラザも開所し、活用されている。

課題

- ・隣近所の関係が希薄になっている。地域で支えあう意識を高めたい。
- ・各種団体の活動が活発に行われているが、参加メンバーの固定化が懸念される。
- ・災害時等の要援護者の把握と具体的な仕組みをどのように進めるか。
- ・各種団体等の担い手不足と高齢化が進んでいるため、人材の発掘、育成、定着が急務。

計画の目標と取り組みの方向性

地域の人のつながりを強くします

みんなで作るまち、
みんなが参加するまちを考えます。

- 子どもが元気に育つまち
- きれいで犯罪のないまち
- 災害に強いまち
- 地域ケアプラザが暮らしの拠点になるまち
- 支えあい活動が活発なまち
(サポートキーカードの確立を検討する)

計画が必要な背景

少子高齢化、地域の連帯感の希薄化、人々の流動性、個人主義的傾向が強まっていると言われていています。一方で、高齢者、障害者、子どもなど地域での支えを必要とする人が増えています。その人たちを支えるための公的な福祉サービスが発達しても、それだけでは対応できないことが分かってきました。地域に生活している人にしか見えない、地域の生活課題や、身近でなければ早期発見が難しい問題があるからです。公的な福祉サービスと地域での身近な生活課題に対し取り組む「地域の支えあい活動」や各種団体の活動などが協力して、地域福祉を推進していくことが必要とされています。